用言の活用一 力行変格活用 問題

設問一

1. 力行変格活用動詞「来」の未然形を平仮名で書きなさい。
2. 力行変格活用動詞「来」の連用形を平仮名で書きなさい。
3. 力行変格活用動詞「来」の終止形を平仮名で書きなさい。
4. 力行変格活用動詞「来」の連体形を平仮名で書きなさい。
5. 力行変格活用動詞「来」の已然形を平仮名で書きなさい。
6. 力行変格活用動詞「来」の命令形を平仮名で書きなさい。

設問二

力行変格活用動詞「来」の活用表を平仮名で作成しなさい。

設問三

次の文中の傍線部はいずれも力行変格活用動詞「来」です。活用形は何形か書きなさい。

1. 人どもきとぶらひけれど(人々が来てお見舞いを述べたけれども)

【宇治・絵仏師良秀】

2. 「いづら、猫は。こちぬてこ。」(どこ、猫は。こちらへ連れて来い。)

【更級】

3. 秋きぬと目にはさやかに見えねども(秋が来たと目にははつきりと見えないけれども)【古今・秋】

4. 寝たるよしにて、いでくるを待ちけるに(寝たふりをして、でるのを待っていたところ)【宇治・稚児の空寝】

5. 今日こずは明日は雪とぞ消えなまし(今日来ないならば明日は雪のように消えてしまうだろうに)【古今・春】

6. 月ながめて居たるほどに、人の入りくれば(月をぼんやりと眺めて座っていた時に、人が入って来るので)【和泉・月明き夜】

【解答欄】

設問一

1. _____
2. _____
3. _____

4. _____
5. _____
6. _____

設問二

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形

設問三

1. _____
2. _____
3. _____

4. _____
5. _____
6. _____

用言の活用一 力行変格活用 解答

【解答欄】

設問一

1. こ
2. き
3. く
4. くる
5. くれ
6. こ・こよ

設問二

こ	未然形	き	連用形	く	終止形	くる	連体形	くれ	已然形	こよ	命令形
---	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----

設問三

1. 連用形。
2. 命令形。未然形と間違えないようにしましょう。文末は終止形か命令形が原則です。
3. 連用形。
4. 連体形。なお、練習のため「くる」だけに傍線を付けていますが、本来は「いでくる」で一つの動詞として捉えるべきです。
5. 未然形。命令形と間違えないようにしましょう。命令形は文末で使われる表現です。
6. 已然形。